

日本の森・滝・渚全国協議会 発足

設立総会・シンポジウムを開催

昭和61年に「森林浴の森日本100選」、平成2年には「日本の滝百選」、そして平成

8年に「日本の渚・百選」が選定されました。

それぞれの翌年には、日本の豊かな自然を守り、人々の愛郷心を育むとともに、心

ゆたかな人づくり、自然と共生するうる

おいのある国づくり、ふるさとづくりを寄

与することを目的とした協議会が百選毎

に設立されました。

それから数年が経過し、近年では地方

自治体における平成の大合併や行財政改

革により退会する会員が増加、協議会の

存続が危惧される状況となっていました。

この状況を打破すべく、平成18年4月に「森林浴の森全国協議会」によって「森」、

“滝”、“渚”という自然全体を見渡した全

国的なネットワークの形成により、幅広い

視野と多分野に渡るたくさん情報を集

積し、魅力ある百選地づくりへ活用するこ

とを目的とした新協議会を3協議会の合

併によって設立する提案が「日本の滝全国

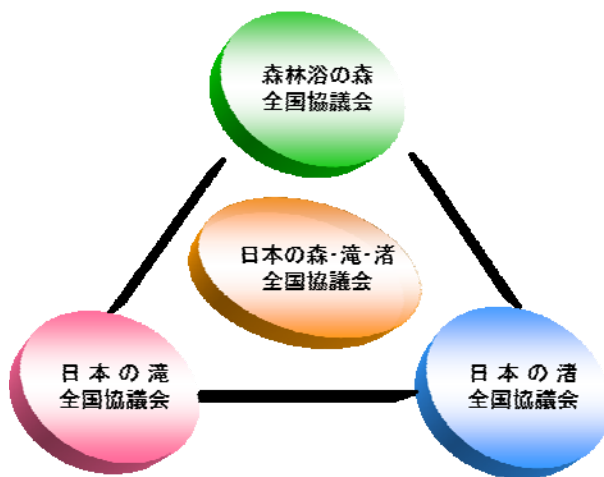
協議会」並びに「日本の渚全国協議会」へ行

われました。提案後は各協議会において

合併議案が承認され、当時の各協議会の

会長が世話人となり合併へ向けた調整が

始まりました。



森、滝、渚と各々が活用してきた自然は異なっても優れた自然環境の保全とその活用という同じ方向性を持つ協議会同士ということもあり、また会員の皆様のご理解とご協力に支えられ、調整は順調に進捗し、予定していた平成19年中の新協議会「日本の森・滝・渚全国協議会」設立が実現しました。

設立総会

平成19年8月9日、10日の両日、全国町村会館（東京都千代田区）にて設立総会並びにシンポジウムを開催しました。



設立総会



初代会長 山口県光市長 末岡 泰義氏



環境省自然環境局長 櫻井 康好氏

9日の設立総会では、まず3協議会合併の世話人を代表して山口県光市長 末岡泰義氏から、新協議会への抱負を織り交ぜたあいさつがありました。

続いて来賓としてご臨席頂いた環境省、林野庁、水産庁より協議会発足に対する祝辞や今後の活動への激励のお言葉を頂きました。

また議事では、規約や役員、顧問、平成19年度事業計画及び予算などが原案の



水産庁防災漁村課長補佐 黒澤 馨氏



林野庁森林総合利用・山村振興室長 吉田 巧氏

とおり可決されました。なお、理事及び監事が選出された後、理事の中から会長に山口県光市長 末岡泰義氏、副会長に宮城県蔵王町長 村上英人氏、同じく副会長に神奈川県葉山町長 守屋大光氏が就任することとなりました。また顧問に

は森、滝、渚各百選の提唱者であり旧3協議会に
 おいても顧問を歴任されていた三島昭男氏（元朝日新聞編集委員）へ委嘱しました。



顧問 三島 昭男 氏

設立総会終了後は交流会へ場を移し、出席首長によるあいさつや特産品を用いた会員による自治体紹介が行われたほか、会員からの提供画像を編集したショートフィルムを上映するなど盛況のまま閉会となりました。

シンポジウム
 「全国自然敬愛サミット」

翌10日には、シンポジウム「全国自然敬愛サミット」を開催しました。基調講演では、環境省自然環境計画課長の渡邊綱男氏を講師に招き、「これからの自然環境行政について」をテーマに新生物多様国家戦略のポイントである3つの危機（①人間の活動や開発による危機 ②人間の働きか

けが減少することによる危機 ③外来生物による生態系のかく乱の危機）を解説されました。また、豊富な職務経験の中から取組事例を幾つか紹介



環境省自然環境計画課長 渡邊 綱男 氏

- 設立総会 次第**
- 1 開会
 - 2 代表世話人あいさつ
 山口県光市長 末岡 泰義 氏
 - 3 来賓祝辞
 環境省自然環境局長 桜井 康好 氏
 林野庁森林総合利用・山村振興室長 吉田 巧 氏
 水産庁漁場漁村整備部長（代理） 黒澤 馨 氏
 防災漁村課長補佐 黒澤 馨 氏
 - 4 議事
 - 5 その他
 - 6 閉会



シンポジウム「全国自然敬愛サミット」

され、その影響と有効性についても説明されました。終わりには、残された自然を保護するだけでなく、損なわれた生態系を健全な状態に回復させ再生していく必要性を改めて強調されました。

続いて行われた記念講演には、有限会社ニセコアドベンチャーセンター代表取締役のロス・フィンドレー氏を講師に招きました。フィンドレー氏は、冬のスキーによる観光しかなかった北海道ニセコ地域に夏の体験観光の魅力を付加し、国内外から観光客が集まる通年型観光地に変貌させた実績が評価され、国土交通省が選ぶ“観光カリスマ百選”に選出されています。講演では、「自然環境と地域の活性化について」



有限会社ニセコアドベンチャーセンター代表取締役
ロス・フィンドレー氏



副会長 宮城県蔵王町長 村上英人氏

をテーマに、優れた自然環境の活用による観光地づくりについて成功秘話を交えながら、行動理念や観光環境整備の大切さを説明されました。また、個々の地域特性を活かした独創的な実施計画の必要性についても強調されました。

最後に、副会長あいさつとして宮城県蔵王町長 村上英人氏が、シンポジウムの内容を踏まえた協議会活動の抱負を話され、全日程を終了しました。

今回、多くの会員が参加されたことによつて設立総会やシンポジウムなど盛大に開催できました。次回、山形県鶴岡市で開催される平成20年度総会へもたくさんの参加をお願いいたします。

1	開会
2	会長あいさつ
3	基調講演 演題 「これからの自然環境行政について」 講師 環境省自然環境局 自然環境計画課長 渡邊 綱男氏
4	休憩
5	記念講演 演題 「自然環境と地域の活性化について」 講師 (有)ニセコアドベンチャーセンター 代表取締役 ロス・フィンドレー氏
6	副会長あいさつ
7	閉会

シンポジウム「全国自然敬愛サミット」 次第